

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	カムカムせんだい		公表日		年 月 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・活動内容によって作業するテーブルを変えたり、パーテーションによって空間を区切っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・職員数は不足しておらず、適切である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・居室に役割を与えている。 ・生活する部屋と遊ぶ場所がわかりやすく分けられている。 ・階段や段差が多いが、スタッフが必要に応じて声かけや補助を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎日清掃とアルコール消毒を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・必要に応じて個別の部屋で気持ちを落ち着けることができる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・日々の振り返りとその日の課題についてミーティングで話し合うようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・ご家族と連絡ノートや受け渡しするときなどに連絡をとりあい、お話を聞かせてもらい業務改善につなげている。 ・評価表の配布によって業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・日々のミーティングと業務の中での聞き取りで職員の意見などを聞き取って業務に反映させている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	・外部機関への委託は行ってはいない。 ・自己評価表の内容を業務改善へとつなげていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・法人や、事業所内での研修の機会を設けている	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	1	4	・公表に向けて準備中（3月中に公開）	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・アセスメントツールを用いて行っている。 ・面談や、引き渡しの際の聞き取り、書面でのやりとり、日々の様子などを通じて計画の作成に反映させている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・計画作成のための会議を行い日々の活動内容に反映出来るようにしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・個別支援計画を職員がすぐに手に取り、目を通せる場所に配置している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・評価のための共通の様式を準備して用いている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・お子さんの通う学校や、相談支援センターの主催する支援会議に出席し、ご家族の要望を聞き取りながら行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・職員間で打ち合わせをしながら日々の過ごしや、活動内容を打ち合わせしている。	

な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人の体調を見ながら、また学校やご家庭での行事などを考えて活動への誘いかけを行っている。 ・季節の移り変わりを感じ取れるような活動を考えて行っている。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		〃	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・支援の開始前、支援の終了後に申し送りをしている、その日の役割分担や振り返りを行っている。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		〃	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の様子の記録を取り、保管している。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングを定期的に行いサービス計画作成に役立っている。 ・ご本人の状態や環境に大きな変化が見られた場合にもモニタリングを行い計画の更新を行っている。 	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・4つの活動の中では自立支援と日常活動の充実に重点をおいている。 ・地域活動への参加についてはお祭りやイベントへの参加を行っている。 	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動の中で複数のものからひとつを選ぶことを取り入れている。 	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・状況をよく理解した職員が会議へと出席している。 	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・各機関と連携し、情報交換を行っている。 	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族を通して情報提供をしていただいている。 	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援センターを通して情報共有を行っている。 	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・移行支援会議に参加し、情報提供を行っている。 	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・適切な担当者が相談や情報提供を行い、スーパーバイズや助言を受けている。 	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5	<ul style="list-style-type: none"> ・お知らせをいただいた活動について広報しているが、事業所として参加はしていない。 	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や対面でお話を聞かせていただいている。 	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・お知らせをいただいた活動について広報している。 	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ご契約の時に説明をさせていただいている。 		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画作成する際にはご家族と本人の意向を取り入れて反映させるように努めている。 ・本人とご家族への聞き取りを行い、意向を確認している。 		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・計画の内容をご家族に説明し、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・面談やご家族からの電話相談を受け、お応えしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	・事業所内で父母の会、保護者会の開催は行っていない、保護者の方よりいただいた活動の広報のお知らせを配布している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・苦情申立の仕組みをつくり、契約書に記載してお知らせしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・事業所からのおたよりを配布している。HPに行事予定などをお知らせしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1	・契約時に個人情報の取扱いに関わる書面により、ご家族の方との意思確認を行っている。また、保存期限を過ぎた書類等も直接処理場に持ち込む、業者へ委託するなどの方法を取っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・ご家族の方や、学校、相談支援センターを通じて意思をくみとるための情報収集をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	・広く周辺地域に活動やイベントは広報していない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・事業所の中で共有しているが、ご家族へは公表していない。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	1	5	・火事や災害を想定した避難訓練を行っている。 ・業務継続計画についても現在作成中（3月中旬に公表）	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・ご家族や相談支援センターさんからのお知らせをいただき、確認をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・ご家族や、相談支援センターより情報提供を受けて対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・普段の過ごしの中での発生しうる危険を避けるための情報を共有している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		4	・ご家族の方へ安全計画の内容などは公開していない、重要事項説明書と契約書の中に想定されることについての対応は記載している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	・ヒヤリハット事例を共有して再発防止につとめている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	2	・虐待に関する研修を年に2回行っている。	・研修内容の理解が必要と感じた。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	1	5	・虐待に関する研修の内容を踏まえて、身体拘束についての設問の内容について話し合いを行っている。	・現在、該当者がいない ・原則として身体拘束を行わないが、危険が想定される場面が頻出する場合には、ご家族に同意していただき記載することになっている。	